



小中一貫教育説明会報告 その2

前回に引き続き、6月に実施した「東伊豆町小中一貫教育説明会」でいただいた意見や質問をご紹介します。（説明会は、東伊豆町のホームページからYouTube動画でご覧になることができます。）



小中一貫教育のデメリットは何か。

以前に配布した『教育委員会だよりNo.10』では、「小中一貫教育の課題」として、これまで小中一貫教育に取り組んでいる全国の市区町村の教育委員会への調査結果から、

- ◆これまでにない9年間の系統性に配慮した指導計画や教材開発
- ◆9年間での児童生徒の人間関係の固定化への配慮
- ◆小学生高学年のリーダー性・主体性の育成
- ◆小中の教職員間の共通理解の醸成や教職員の負担感・多忙感



などが回答であげられていることと、いずれの課題も、3年後の調査では「課題である」と答えた割合が減少しているため、実践を重ねる中で解決の道筋も明らかになっていくと考えられると紹介をしました。

今回の説明会では、「デメリットは何か」との質問がありました。会場では、上記のような「課題」について回答しましたが、「デメリット」としては、これまでの他市町教育委員会等の資料では、以下のような点が指摘されています。

- ◆小学校と中学校の節目がなくなり、新たな気持ちの切り替えや進学する充実感がなくなる可能性がある。
- ◆小学校卒業の達成感がない。
- ◆小学校高学年のリーダーシップや自主性が養われない。
- ◆小中合同の活動時に、小学生に合わせた表現や動きになり、中学生に必要な判断力や自主性を養う場がなくなる。
- ◆9年間同じ学校で生活を送るので、人間関係が固定化しやすい。
- ◆小学校と中学校の組織文化、習慣の違いが大きく、その調整に時間がかかる。
- ◆特に開始段階で、教職員の業務量増大につながる可能性がある。

実際に小中一貫教育を実践している学校は、メリットを生かし、このようなデメリットへの対応方法を探りながら、教育の充実に取り組んでいます。今後、その具体的取組や成果等についても詳しく報告されるものと思います。

東伊豆町教育委員会としては、メリット・デメリット両面を見据え、研究を重ねながら小中一貫教育を進めていきたいと考えています。

★ご質問・ご意見は、東伊豆町ホームページの【お問い合わせ】か
東伊豆町教育委員会【電話】0557-95-6207 【〒】413-0411 東伊豆町稲取3354
【メール】kyouiku@town.higashiizu.lg.jp お願いします。

